ご挨拶

第十九世住職 渡邊隆厚（わたなべりゅうこう）

謹啓　盛夏の候、暑さ厳しおりご尊家の皆々様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申しあげます。

先代清禅住職の妻で、私の祖母渡邊しづかが令和四年四月十八日に逝去いたしました。九十二歳でした。生前に皆様方から賜りましたご厚誼に心より感謝と御礼申し上げます。先代を支えて不動院を護って参りましたが、晩年は里庄町のグループホームなごみさんで手厚い介護を受け穏やかに過ごしておりました。最後まで施設の職員の方々や家族に「有難う」と感謝を伝えていました。葬儀の最中に遺影の祖母が笑ったとたくさんの人から教えていただきました。生前お世話になった方々にご参列いただき嬉しかったのでしょう。笑顔で旅立っていきました。五カ寺の僧正様にご出仕賜りまして、お陰をもちまして葬儀、満中陰法要・納骨式を滞りなく相営むことができました。心より御礼申し上げます。誠に有難うございました。今後とも変わらずお力添えを賜りますようよろしくお願い申しあげます。

さて、新型コロナウイルスが二〇一九年十二月初旬に中国の武漢市で第一例目の感染者が報告されてから二年半ほど経ちますが、未だ日本においてもウイルスは変異しながら感染を拡大しており、収束にはまだ時間がかかるのではと感じております。

昔の日本でも疫病や飢饉によって人々の生活が危ぶまれる時期というのがありました。平安時代、弘仁九年（八一八）の春、大飢饉による疫病が広まり多くの人々が大変な苦しみを受けられたとき、帝であられた、書に優れ、お大師様や橘逸勢（たちばなのはやなり）と並び「三筆」と知られる「嵯峨天皇（さがてんのう）」は真言宗の開祖であるお大師様のお勧めにより、自ら紺紙金泥（紺色の布に金の泥）で一字三礼（一字書くごとに三度礼拝する）の誠を尽くして、般若心経一巻を写経し奉られました。三度礼拝するというのも、合掌して頭を下げるというものではなく、五体投地（ごたいとうち）という合掌して立った状態から両手・両ひざ・頭を地に伏して再度立ち上がるという礼拝を行ったと言われております。

般若心経は本文だけでも二六六文字あり経題も含めると二七〇文字を超えます。一字三礼ということは五体投地での礼拝を八一〇回以上しておられると考えられます。そのような誠を尽くした般若心経は霊験がたちまちに顕れ、人々に平安がおとずれたと伝われております。

その般若心経は霊経として崇められ、弘仁九年が戊戌（つちのえいぬ）の年であったことから、同じ戊戌の年（六十年に一度）にのみ開封して天下泰平を祈る慣例となっており、開封には天皇自らか名代たる勅使の手によってしか開封してはならない勅封という特別な封印がなされております。その後の歴代天皇も嵯峨天皇の写経に倣って、大きな天災のたびに自ら般若心経の写経をなされて国の平静を祈願されたと言われております。

般若心経は、見て声に出してお唱えするだけでも功徳があるとされております。さらに経文の一文字一文字を仏様と想い、一文字一文字にご先祖様の供養や家内安全・身体健全等の心を込めて写せば、さらにその功徳は計り知れないものであるとされます。

写経というのは以前この不動院だよりでも書かせて頂いた三密（行動・言葉・心）の教えが実行できます。仏様の教えを写し、そして読み、心に仏様の慈悲の恵を想うという三密の修行が行えます。

不動院でも写経体験を様々な行事の際に行いますので、ご参加くだされば幸いです。行事以外でもお電話いただければ写経体験していただけます。心静かにご先祖様への供養や様々な想いを一文字一文字に乗せて写経なされば、きっとその功徳や想いはご先祖様や仏様に届くことと思います。

これからも暑い日が続きますがどうかご自愛のほどお祈り申しあげます。

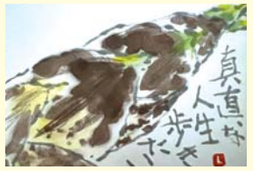
合掌

渡辺しづか　絵手紙展

祖母の渡辺しづかは、生前、趣味の絵手紙を楽しんでおりました。

たくさん絵手紙を残しており、その一部をご紹介させていただきます。

在りし日の面影を留めていただけましたら幸いに存じます。



2022年4月20日　葬儀の様子

2022年6月5日　四十九日法要の様子

母 渡辺悦子が両親に感謝を込めて歌を作りました。檀家さんや御納経された方々にCDを差し上げています。

有難う　　渡辺悦子　　2022.7.18

おとうさん
やさしくて　おだやかで　くそ真面目で
いつでもどんな人にも温かく接していたよね
コーヒーとうどんが好きで、お昼には毎日うどん
出かけた時には必ずコーヒーを喫茶店でいっしょに飲んだね
ありがとう　ありがとう　ありがとう　ありがとう
ありがとう　ありがとう　ありがとう　ありがとう
何があっても　一度も決しておこられたことがなかったよ
会いたい　ありがとう

おかあさん
最強で　教育ママゴンで
しつけも超絶きびしく
叱られてばかりだったよね
でもおとうさんをたてて　料理上手で、
裁縫・編み物なんでもこなし、
家庭をしっかりと守ってくれたね
ありがとう　ありがとう　ありがとう　ありがとう
ありがとう　ありがとう　ありがとう　ありがとう
最後はまわりの人たちに　たえず感謝を伝えていたね
みなさん　ありがとう

なにもできずに
親不孝で　ごめん

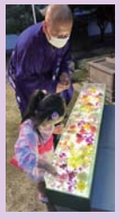
ありがとう　ありがとう　ありがとう　ありがとう
ありがとう　ありがとう　ありがとう　ありがとう
笑顔で過ごした日々だけが
いつもいつも浮かんでくるよ
幸せ　ありがとう

瑜伽（ゆが）祭りの様子

令和4年7月20日（水）夜

今年はよりライトアップし、住職の太鼓と読経、お菓子のお接待を行いました。ゆかた姿の人も多く見られ、訪れた人は昔の瑜伽祭りを懐かしんでいました。エヴァホールさんに大変お世話になり有難うございました。

瑜伽祭りの準備・片付けに地元の小・中学生や不動院青年部が手伝ってくれました。感謝です。



永代供養（お位牌・お骨）をご希望の方は不動院までご相談ください

不動院納骨堂